

Topics of the Month

★小さな一歩を大切に

こんにちは。ビバイ代表の迫田です。早いもので2026年も1ヶ月が過ぎました。2月は全国各地で中学・高校・大学受験が本格化していきます。先月号で「完璧を目指さなくても良い」という話をしましたが、今月は目標に向かう過程で大切にしてほしいことをお伝えします。それは「小さな成功を認める」ということです。「英検に合格する」という大きな目標も素晴らしいですが、「今日は5つ単語を覚えられた」「先生と英語で会話が続いた」といった小さな成功の積み重ねこそが、最終的な大きな成功につながります。私自身、昨年立てた英検受験の目標は完全には達成できませんでしたが、挑戦し続けたことは大きな成果だったと感じています。お子様の学習においても、テストの点数だけでなく、「昨日よりも楽しそうに英語を話している」といった変化にぜひ目を向けてください。新年度を前に、お子様と一緒にこれまでの成長を振り返る時間を持ってみてください。

Staff introduction

★Runa Sekiguchi

<名前>Runa Sekiguchi(関口 溜渚)

<大学名>東京外国語大学

<海外歴>海外在住歴はありませんが、幼少から一貫して英語を学んでおりました。

<保有資格>英検準1級、TOEIC 950

<コメント>英語が大好きで、日本にいたがらも英語を沢山使っていくうちに、自然と英語を話せるようになりました。子どもたちに英語の楽しさに気づいてもらい、英語が大好きになってもらうことが私の願いです。一緒に楽しみながら英語力を伸ばしていくお手伝いをさせていただきたいです。



★Staff diary

今月は、バレンタインデーにまつわる英語の小話をひとつお届けします。日本では「女性がチョコレートを贈る日」として親しまれていますが、英米圏では少し雰囲気が違います。恋人同士や夫婦が、カードや花、チョコレートなどを贈り合い、「I love you」「You're special to me」など、言葉でも気持ちを伝え合う日として大切にされています。また、アメリカの小学校ではクラス全員でバレンタインカードを交換する習慣があるのも特徴です。子どもたちは小さなカードに「You're a great friend!」「You're awesome!」といったメッセージを書き、クラスメイト全員に配ります。誰も仲間はずれにしないという教育的な配慮も、この文化を支えていると言われています。ご家庭でも、お子さまと一緒に簡単な英語のメッセージカード作りをしてみたいはいかがでしょうか。「Thank you」「You're nice」など短い一言でも、自分の気持ちを英語で伝える体験は、英語学習の良いきっかけになります。バレンタインを、英語に親しむ小さなイベントとして楽しんでいただけたら嬉しいです。(松本)